

毎度！昭和肥料FAX通信

ネギ類の
生産者様向け



土壌pHを意識した土づくり ～ネギ類の黒腐菌核病への石灰資材追肥～

生産現場で発生する「土壌病害（以下：病気）」には、それぞれの病気の原因（カビ、細菌、ウィルス）があることはご存知のとおりです。

圃場のpHをこれら病原菌の好まない環境にすることで、病気を予防する考えは、土づくりを考える上で非常に重要です。

| | | |
|-----------------|-------------|------------------------------|
| 有名な事例：ジャガイモそうか病 | ・・・アルカリ性で多発 | } 硫黄資材で酸性へ改善 石灰資材でアルカリへ改善 |
| レタスビッグベイン病 | ・・・アルカリ性で多発 | |
| アブラナ科の根コブ病 | ・・・酸性で多発 | |

☆今回お知らせしたい情報☆

秋の土寄せ時に石灰資材を追肥することで
『低温期の土壌pHを高く維持できる』これにより
ネギ黒腐菌核病の被害を軽減する事が確認された
(静岡県農林技術研究所【植物防疫第69巻第6号】より)

年明け～春に収穫のネギ類には

10月～12月の追肥に合わせて、
今年は石灰資材の追肥をご提案ください

なお、静岡県農林技術研究所様の試験では苦土石灰を4回追肥しています・・・

そこで『効果長持ち（施用回数を1～2回に軽減）』

『微量要素含有（微量要素欠乏の予防、品質向上）』

『撒きやすい（作業性も大切）』

などで定評のある 弊社製品をお奨めください！

※お問い合わせは

昭和肥料まで TEL

0766-67-2700